国立の美術館・博物館等文化施設へのオストメイト(人工肛門・人工膀胱の保有者)対応設備の設置促進(各機関からの回答要旨)

標記についてあっせんした結果、各機関から以下の回答（平成20年10月現在）がありました。

あっせん・回答 機関名	① オストメイト対応設備の設置を可能な限り推進すること	② オストメイト対応設備を設置した場合、ホームページ等で周知を図ること
独立行政法人国立文化財機構 東京国立博物館	平成館及び東洋館の障害者用トイレに設置（平成20年9月）した。	ホームページに設置した旨を掲示した。また、設置箇所にはピクトグラム(オストメイトマーク)を用いて分かりやすく表示した。
独立行政法人国立科学博物館	上野本館に既設の多目的トイレのうち２か所を改修し、設置することを決定した。	改修工事完了後、ホームページ上に掲載する。
独立行政法人国立美術館	改修等を伴う施設もあることから、事業計画等に支障がないよう施工計画及び経費を検討の上、早期に設置工事を実施する。	設置後は、ホームページのバリアフリー情報項目に設置されている旨を表記する。

≪オストメイトマーク(案内用図記号)の表示例≫



